

H29年度農地利用状況調査結果集計表

地区番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
地区名		金田	岩根	中郷	清川	木更津	波岡	鎌足	富岡	馬来田	
調査対象数	筆数	4,830	7,370	8,714	4,983	2,357	3,056	3,443	3,675	8,359	46,787
	面積	2,943,439	3,512,294	6,298,321	2,934,010	1,274,322	1,517,528	3,306,311	2,924,105	5,291,310	30,001,640

調査コード	調査状況	金田	岩根	中郷	清川	木更津	波岡	鎌足	富岡	馬来田	調査済計	
1	耕作地	筆数	3,980	6,527	8,043	3,881	1,820	2,772	2,787	3,239	5,499	38,548
		面積	2,457,063	3,151,866	5,919,195	2,303,267	965,370	1,329,022	2,701,189	2,604,591	3,396,336	24,827,899
2	保安全管理 (不作付地)	筆数	193	165	284	192	124	62	158	176	821	2,175
		面積	129,050	86,239	161,259	108,054	75,411	39,704	116,444	126,240	486,952	1,329,353
3-1	2号遊休農地 機構借受可能	筆数	8	18	123	6	72	0	5	6	11	249
		面積	3,726	13,183	74,586	5,991	41,143	0	6,604	4,374	8,856	158,463
3-2	2号遊休農地 機構借受困難	筆数	27	178	40	86	10	9	17	60	51	478
		面積	20,724	79,328	18,357	65,316	4,253	7,277	21,249	48,061	41,772	306,337
4	1号遊休農地 (A分類)	筆数	431	5	164	171	318	15	81	23	127	1,335
		面積	230,126	1,846	91,860	95,803	180,987	11,695	86,404	13,541	86,160	798,422
5-1	非農地(再生利用 困難な農地)	筆数	191	448	60	477	13	97	151	60	1,326	2,823
		面積	102,750	172,686	33,064	257,398	7,158	68,572	133,721	40,232	845,290	1,660,871
5-2	立入困難	筆数	0	29	0	170	0	101	244	111	524	1,179
		面積	0	7,146	0	98,181	0	61,258	240,700	87,066	425,944	920,295
合計		筆数	4,830	7,370	8,714	4,983	2,357	3,056	3,443	3,675	8,359	46,787
		面積	2,943,439	3,512,294	6,298,321	2,934,010	1,274,322	1,517,528	3,306,311	2,924,105	5,291,310	30,001,640
調査割合		筆数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
		面積	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
遊休農地 (3-1、3-2、4)		筆数	466	201	327	263	400	24	103	89	189	2,062
		面積	254,576	94,357	184,803	167,110	226,383	18,972	114,257	65,976	136,788	1,263,222

地区別調査件数割合

調査状況	区分	金田	岩根	中郷	清川	木更津	鎌足	波岡	富岡	馬來田	全体割合
1 耕作地	筆数	82.4%	88.6%	92.3%	77.9%	77.2%	90.7%	80.9%	88.1%	65.8%	82.4%
	面積	83.5%	89.7%	94.0%	78.5%	75.8%	87.6%	81.7%	89.1%	64.2%	82.8%
2 保安全管理 (不作付地)	筆数	4.0%	2.2%	3.3%	3.9%	5.3%	2.0%	4.6%	4.8%	9.8%	4.6%
	面積	4.4%	2.5%	2.6%	3.7%	5.9%	2.6%	3.5%	4.3%	9.2%	4.4%
3-1 2号遊休農地 機構借受可能	筆数	0.2%	0.24%	1.4%	0.1%	3.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.5%
	面積	0.1%	0.38%	1.2%	0.2%	3.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.2%	0.5%
3-2 2号遊休農地 機構借受困難	筆数	0.6%	2.4%	0.5%	1.7%	0.4%	0.3%	0.5%	1.6%	0.6%	1.0%
	面積	0.7%	2.3%	0.3%	2.2%	0.3%	0.5%	0.6%	1.6%	0.8%	1.0%
4 1号遊休農地 (A分類)	筆数	8.9%	0.1%	1.9%	3.4%	13.5%	0.5%	2.4%	0.6%	1.5%	2.9%
	面積	7.8%	0.1%	1.5%	3.3%	14.2%	0.8%	2.6%	0.5%	1.6%	2.7%
5-1 非農地(再生利 用困難な農地)	筆数	4.0%	6.1%	0.7%	9.6%	0.6%	3.2%	4.4%	1.6%	15.9%	6.0%
	面積	3.5%	4.9%	0.5%	8.8%	0.6%	4.5%	4.0%	1.4%	16.0%	5.5%
5-2 立入困難	筆数	0.0%	0.4%	0.0%	3.4%	0.0%	3.3%	7.1%	3.0%	6.3%	2.5%
	面積	0.0%	0.2%	0.0%	3.3%	0.0%	4.0%	7.3%	3.0%	8.0%	3.1%

コード	項目	項目説明	
1	耕作地	耕作されている農地。	
2	保全管理 (不作付地)	耕作はされていないが、維持管理(草刈・耕うん等)がされている農地。 不作付地で、耕作される見込の農地。	
3-1	2号遊休農地 (不作付地)	中間管理機構が 借り受け可能	その農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比較して著しく劣っていると認められる農地。 例:保全管理がされていなくても、草刈等、農家が保有しているトラクターや耕うん機等を利用した通常の農作業で耕作が可能となる農地。 当面作付けする意思はないと判断した農地。
3-2		中間管理機構が 借り受け困難	
4-1	1号遊休農地 (A分類)	現に耕作の目的に供されておらず、引き続き耕作の目的に供されていないと見込まれる農地。 例:ススキや笹など多年生雑草や木が繁茂し、農家が保有しているトラクターや耕うん機等を利用した通常の農作業だけでは耕作ができない農地。	
5-1	非農地 再生利用が困難な 農地(B分類)	再生利用が困難と見込まれる荒廃農地。 山林や原野化するなど、農地に復元することが困難な農地。	
5-2	立ち入り困難な 農地(B分類)	進入路が荒廃しているため、立ち入り困難で調査できないが、その先が非農地と考えられる農地。	